幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2022年12月度　定例会

日　時　　12月19日（月）　9：30～
会　場　　ウェルス幸手（調理実習室）
司　会　　S

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）養成講座3回目・・・T先生（研修室10：00～12：00）
2. 今後の予定
   1）1／16（月）13：30　新年会及びおしゃべり会　次年度の役員について
   2）2／20（月）13：30　健康増進課による出前講座
   3）3／20（月）13：30　令和5年度の月別活動計画作成
3. お知らせ
   1）さいたま市の「傾聴ボランティアあゆみ」の交流会に出席しました。参加者は、
      ①あゆみ…浦和、大宮、岩槻、与野の4地区306名
      ②ダンボ…坂戸　ボランティアつるさんと交流あり
      ③ゆうゆう…越谷20数名　草加のボランティアと交流あり
      ④つる…鶴ヶ島　9名
      ⑤つぼみ…朝霞　15名
      感想…あゆみだけ会員数が傑出している。他の代表の話では、やはりコロナ禍の中、活動ができず、モチベーションが無くなったりで、会員数の減少がみられる。
   2）ボランティア代表者会議がコロナのため中止となる。
   3）社協との推進会議　1／30

◎11月度議事録
   1）11月度定例会参加者　11名
   2）T1回目の養成講座　受講者数30数名

※今月のことば　「自分にとって傾聴ボランティアとは」より
◎活動中、最も印象深かったことについて
・個人宅に行った時のことです。明るい家族思いの90歳女性です。農家にお嫁にきて、一生懸命働いていたが、そのころのお嫁さんは、衣類を1枚買うのもお姑さんの許可が必要だったとのこと。あるとき、近所の女性同士で日帰り旅行があり、いつもの服で出かけると、後から夫が追いかけてきて、そっと、「服を買ってきた。これに着替えて行け」と、ブラウスを渡してくれた。夫には、おみやげにお饅頭を買ってきて、二人で畑で食べた、とのこと。こんな素敵なお話が聴けてとても幸せな気持ちになった。
・また、個人宅でのこと。訪問して1年近くなり、信頼関係もできたころ、約束の時間に訪問すると、見慣れない女性がいて座って話している。聴くと近所の方で、自分も同じように話に来てほしいと言われ、そこで、この訪問の仕組みを簡単に説明をした。その日は、利用者の方の了解を取り、3人で話すことにしたが、近所の方は、「私は私は、」とご自分のことばかりを話し出した。やはりすぐにお断りすべきだったと反省をした。今までの二人でしてきた話はできなかった。ふと、もし、反対にボランティアが二人だった場合も難しいのではと感じた。